

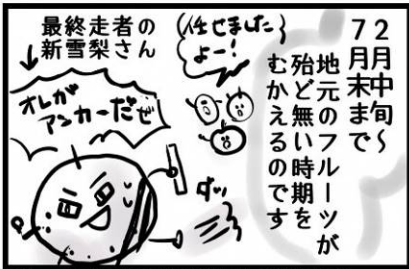
移住風景

—八頭町地域おこし協力隊活動の現場から—

好きなくらし

身近にあるもので暮らすのが好きです。このお正月は大雪で外出が出来なかったこともあり、ストーブでコトコト黒豆を煮たり、ゆつくり一日かけて乾物から出汁を取ってお雑煮を作ったり、手作り味噌で粕汁を作ったり、漬け上がったキムチを食べたり、いたいたじゃがいもでポテトチップスやフライドポテトを作ったなど、家で出来ることを堪能しました。

また、柚子で「ゆずぼん」を作り、皮は「ゆず湯」に再利用、柚子がなくなった時は庭に生えている謎の柑橘をもいで果汁をドレッシングにし、皮をまたお風呂



謎の柑橘

地域おこし協力隊

松下 聡子

に入れたりしました。そんな風にしていたら、買い物に行かなくても一ヶ月くらいは余裕で巣ごもり出来そう、この暮らしがますます楽しいのでした。

協力隊担当の現場から

八頭町発見伝⑦

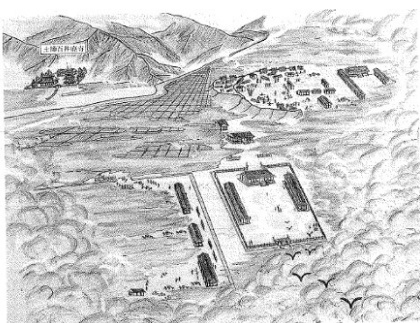
★万代寺遺跡

県立八頭高校近くにある「万代寺遺跡」は、県営八頭中央ほ場整備事業が行われるのに先立ち、昭和57年から58年度に行われた発掘調査で、弥生時代から平安時代にかけての複合遺跡と判明されています。

古代では、地面に直接穴を掘って柱を埋める方法で建物が造られており（掘立柱建物）、万代寺遺跡からはこのような建物が25棟あまりも発見されました。発見された建物は旧八上郡の役所跡とされており

り、今までに見つかったものだけを見ても、建物の方向や距離に一定の規則性が見られることから、非常に高度な土木や建築の技術が用いられていたことが分かっています。

(商工観光室 田中)



八上郡役所の推定復元図



発掘調査時の万代寺遺跡（八上郡役所跡）

○協力隊からのお知らせ

・移住風景は、八頭町役場ホームページからカラーでご覧いただけます。